

**2002 年度公開実習「海洋発生生化学」コースの受講学生の受講後の無記名アンケート^(注1)
や独自アンケートに記載された感想を紹介します。**

参加者の内訳：埼玉大学理学部生体制御学科 1人、千葉大学理学部生物学科 1人、信州大学理学部
生物学科 1人、京都大学理学部理学科 1人、京都大学薬学部総合薬学科 1人、九州
大学農学部生物資源環境学科 1人、(うち女子3人)

・実習参加目的を達成し、更に期待していた以上に充実した日々を送ることができ、非常に満足できた。
・8日間、数人の仲間と大変丁寧に見てくれる先生方と、あるテーマ(今回は受精、細胞周期)について
研究や考察を重ねることは、大変自身のトレーニングになったし、思考の練習になった。

・予想以上に満足できた。また、先生方の丁寧な指導にも大変感謝している。

・やっている途中は長いっらいなどと思った事もあったが、終わってみると、意外に早く終わってしまった
と感じる。かなり達成感がある。自分の大学の实習ではできない体験ができてよかったし、他大学
の人と交流する機会が普段無いので、良い機会となった。また、少人数で行えるのが良い。みんなと仲
良くなれ、道具などが一人一人十分に使えたので。

・担当教官の人柄が良く10日間本当に楽しかった。教科書では学べない生きた体験ができたと思う。

・他大学の人との交流ができ、また北海道に初めて来ることができてよかった。

・10日間アカデミックな刺激をたくさん受けることができて良かった。教官とも実習生とも学問的に興
味のある話しをできて良かった(実習後のディスカッションなど)。

・やはり道具が全員に十分行き渡った方が良いので、これくらいの人数が良いと思う。これ位の人数は
みんな仲良くなりやすいと思う。

・大黒島で将来の夢や進路を語り合う時間がもてたのは良かった。

・自由研究においては、多くの驚きがあったがその中でもとりわけ驚いたことが2つある。一つ目に、
文献においてもあまりはっきりしておらず、かつ、きちんとした結果は出ないだろう、と思われた実験
において、自分の仮説の通り、しっかりと自分の仮説を支持する実験結果が出たことだった。これは、
自分でも信じられず驚いている。..... 2つ目に驚いたことは、全く同じ考えを抱き、それを
文献として残された方が、約20年前に存在したということであった。.....

・実習全体では、日頃使わないヒトデやウニを使用したということは、かなり新鮮な経験だった。また、
個々の実験におけるディスカッションも、今後の人生に大きな影響を与えるものと確信している。 _____

注1：全国臨海臨湖実験所所長会議によるアンケートによる。